

県指定 有形文化財

## 常楽寺鰐口



常楽寺は下堅田の波越区にあり、現在は無住で、本堂には室町前期頃の造立と考えられる仏像が安置され、境内には五輪塔や無縫塔など多くの石像物が散在し、歴史の古さを物語っている。本堂前につるされていたこの鰐口は銅鑄造製で、面径36cm、厚さ10cm、重量14.5kg、表の銘帯区の左右にわたって肉太の陰刻銘があり、「豊後州佐伯庄堅田村常楽寺之公用也 于時文安四年(1447)丁卯閏二月廿八日 願主惟直」と彫られている。これにより常楽寺は室町時代の中期、佐伯氏によって尊崇されていたことがわかる。